

# ボールの特性レポート

## BALL REPORT



ボール名	ラベージVII	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.460	△RG	0.051	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

**テストボール**

フレアーの幅  インチ

PAPからピンとの距離  インチ

表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤

番

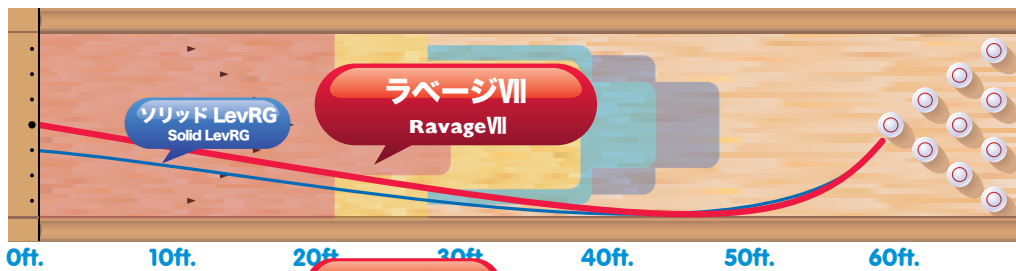
**比較対照ボール：ソリッド Lev RG**

フレアーの幅  インチ

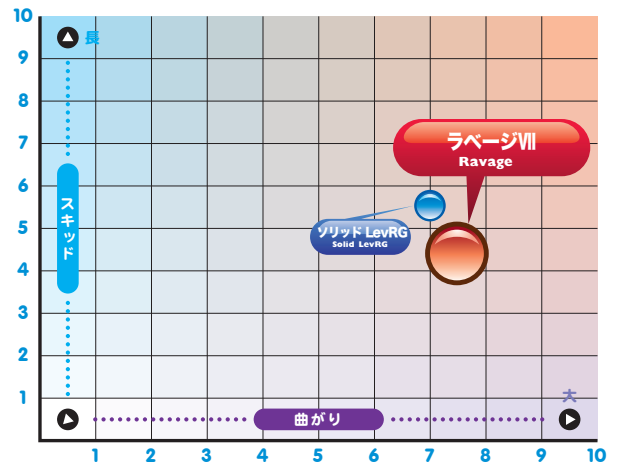
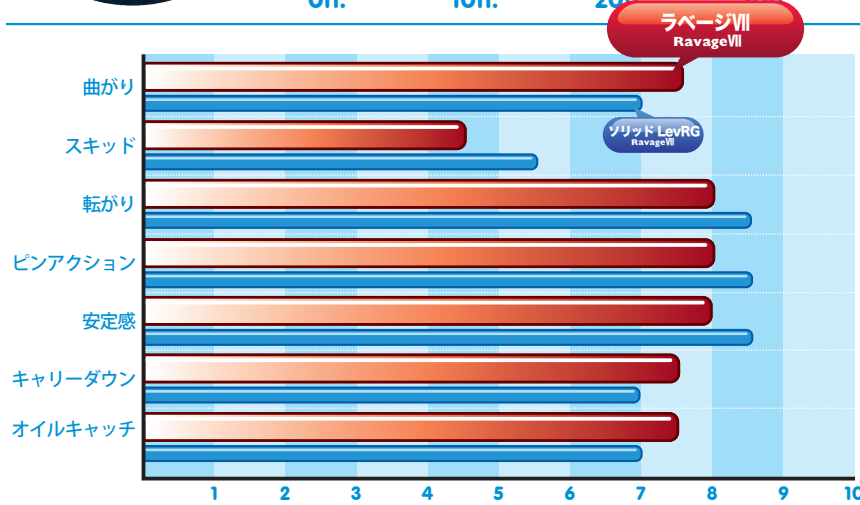
PAPからピンとの距離  インチ

表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤

番



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



レーンコンディション: Light Oil, Light to Medium, Medium Oil, Medium to Heavy, Heavy Oil

バックエンドリアクション: Smooth, Smooth to Arc, Arc, Arc to Sharp, Sharp Angle

レンジス: Early Roll, Early to Med, Med-Lane, Med to Late, Late Roll

### ボールの評価

このラベージVIIはABSテスターが、Rセンターで十数個のテストボールの中から吟味し、表面加工まで拘りつくした日本のコンディションにマッチすべくチョイスされた完全OEMボールです。

このボールの開発コンセプトは、EZ Revコアの証明されたモーションポテンシャルの強さをC4 Enhanced Reactive Pearlカバーストックのドライゾーンでの鋭い反応と結合することによって全く新しいレベルで”Ravage”という名を再現することです。Ravageという名のボールは、フリップブロックコアを使用し、走りながらバックエンドでの独特な切れ感が代名詞とされていました。今回ABSはEZ Revコアを使い、Ravageという名を継承するに相応しいポテンシャルで発売致します。

初代コンプリートアニヒレーションで鋭いバックエンドの反応を魅せたC4 Enhanced Reactive Pearlカバーストックは、EZ Revコアの動力をドライゾーンで一気に開放することができ、それでいて最後までその鋭さを失わずにピンヒットまで駆け抜けます。

EZ Revコアの強さが特徴的だからこそ、その強さをバックエンドで強調させられる性能に仕上げられるのは日本監修のOEMボールならではの性能と言えます。

今回あえて”Ravage”という名を復刻させた理由はそのパフォーマンスで立証致します。ABSテスターが自信を持って発売しますこのラベージVII。是非その性能をその手でお確かめ下さい。

### 特記事項

**EZ Revコアの強さをドライゾーンで鋭く反応を魅せるC4 Enhanced Reactive Pearlカバーストックで纏い、バックエンド協調型の性能に仕上げました。**